

大震災・復興ニュース(第53報)

平成24年4月20日
 仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成24年4月11日～18日
- 2 測定分析機関 宮城県農林水産部, (財)日本分析センター, いであ(株), 東北緑化環境保全(株)
 (財)日本冷凍食品検査協会, (財)日本食品分析センター, エヌエス環境(株)
- 3 測定及び対応結果

スズキ(金華山以南)2点から基準値を超える放射性セシウムが検出されました。同海域のスズキは4月12日付けで国による出荷制限指示が出されておりましたが、宮城県水産物放射能対策連絡会議からの要請で既に3月30日から水揚げを自粛しています。

また、山元沖のマダラで69ベクレルが検出されたことから、マダラ(1kg以上)については、現在自粛している金華山以北の水深150m以浅の海域に加え、4月18日から仙台湾海域での水揚げも自粛されました(その後、閑上沖のマダラで80ベクレルが検出されています)。

水産物(漁獲日 平成24年3月20日～4月11日) (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
マコガレイ	気仙沼市梶ヶ浦沖	不検出	ババガレイ	雄勝湾沖	2.2
ケムシカジカ	気仙沼市唐桑御崎沖	不検出	マガレイ	女川湾沖	3.3
コモンカスベ	気仙沼市唐桑御崎沖	5.2	ケムシカジカ	女川湾沖	7.2
ツナツナ	気仙沼沖	不検出	マツモ	雄勝地先	不検出
ツナツナ	南三陸町歌津沖	不検出	キツネメバル	気仙沼市大島黒崎沖	不検出
イラコアナゴ	南三陸町歌津沖	不検出	クロソイ	女川湾沖	不検出
IVイアナメ	南三陸町歌津沖	1.49	クロメバル	女川湾沖	不検出
クロソイ	女川湾沖	不検出	イバラヒゲ	気仙沼沖	不検出
マガレイ	女川湾沖	3.8	イトヒキダラ	気仙沼沖	0.69
アカガレイ	大須沖	3	ヒラメ	雄勝大須沖	8.4
ヒラメ	大須沖	1.1	サクラマス	雄勝大須沖	1.53
ソウハチ	大須沖	8.7	イシガレイ	女川湾沖	不検出
アイナメ	雄勝沖	4.2	アブラガレイ	気仙沼市本吉沖	2.6
ネズミザメ	三陸南部沖	4.6	ツナツナ	岩沼沖	4.6
マダラ	気仙沼沖	5.0	ヒレグロ	岩沼沖	3.5
スズキ	松島湾	8.7	ヒガンフグ	花淵浜沖	5.0
スズキ	東松島市浜市沖	8.2	ヒガンフグ	東松島市浜市沖	5.0
ババガレイ	山元沖	3.3	ヒガンフグ	亘理吉田地先	5.2
マコガレイ	山元沖	5.4	マガレイ	山元沖	37.0
スズキ	山元沖	104	ケムシカジカ	山元沖	24.4
マダラ	山元沖	6.9	ソウハチ	山元沖	22.8
スズキ	亘理吉田沖	250	イシガレイ	山元沖	4.6
メカジキ	太平洋沖合	不検出	アカガレイ	山元沖	5.4
イワナ	蔵王町(澄川)	5.0	スズキ	名取市閑上沖	5.9
ヤマメ	丸森町(雉子尾川)	8.5	ヒガンフグ	七ヶ浜沖	5.0
キチジ	志津川湾沖	不検出	マダラ	名取市閑上沖	8.0
サメガレイ	志津川湾沖	不検出	ヒガンフグ	七ヶ浜町花淵浜地先	6.3
イシガレイ	雄勝沖	3.9	ヤナギダコ	亘理沖	不検出
イトヒキダラ	気仙沼沖	不検出	マダラ	亘理沖	4.1
アイナメ	気仙沼市本吉大根沖	不検出	アサリ	七ヶ浜町代ヶ崎浜	不検出

マダラ(稚魚)	気仙沼沖	20.9	ミズダコ	岩沼沖	不検出
マコガレイ	気仙沼市本吉沖	2.46	アカガレイ	岩沼沖	4.6
マダラ	歌津沖	11.9	シャコ	松島湾	不検出
ツナシホ	金華山-江の島沖	1.1	ヒラメ	岩沼沖	13.5
ババガレイ	気仙沼沖	1.32	メバチ	太平洋沖合	0.39
イカシホ	気仙沼市本吉赤牛沖	不検出	ネズミザメ	日立・鹿島沖	13.4
ウミタナゴ	気仙沼市本吉大根沖	不検出	ヨシキリザメ	日立・鹿島沖	不検出
ツナシホ	気仙沼市唐桑沖	不検出	キハダ	太平洋沖合	不検出
マコガレイ	雄勝湾沖	2.9	放射性物質の値は漁獲日における値を示す。		

2 管内の復興に向けた動き

<トピックス>

名取川であさり漁始まる

4月13日、貞山運河において、「閉上あさりしじみ漁業者の会」が仙台水産(株)を通じて三重県及び北海道から寄付を受けた漁船によるあさり初出漁が行われた。

まず、関係者による操業安全・豊漁祈願祭が行われ、その後寄付漁船13隻による一斉出漁が行われたが、あいにくの強風のため、15kgの水揚げに留まった。

この日漁獲されたあさは15日(日)、イオンモールにあるゆりあげ港朝市であさり汁として無料提供された。

鳥の海でシロサケ稚魚放流

4月17日(火)、宮城県漁協巨理支所孵化場で人工孵化させたシロサケ稚魚の放流が行われた。

稚魚のサイズは約0.8g、放流尾数は約20万尾で、巨理小学校の5年生133名により鳥の海に放流された。

また、19日(木)には、丸森町耕野小学校の生徒13名が阿武隈川漁業協同組合の稚魚15万尾を内川に放流した。

ちなみに、東松島市大曲・浜市・室浜で実施していた海中飼育の稚魚については、4月5日から12日にかけて放流された。

災害復旧応援職員の紹介

4月2日付で宮城県職員の併任辞令を頂き、東日本大震災復興のため仙台地方振興事務所水産漁港部漁港漁場班に配属された大分県から参りました篠田と申します。

震災復興のため漁港施設の災害復旧事業の設計・積算・工事監理業務を担当すると聞いて来ました。

さて、私は東北地方には20年前に1度訪れただけで、この当時の記憶は瑞巖寺を訪れたというぐらいで初めてのようなものです。

着任後、管内の荒浜漁港や閉上漁港等を案内して頂きましたが、震災から1年経過したにもかかわらず復興の光は遠い感じがしました。

今後、私の漁港関係の知識を最大限に生かし、一日も早い復興のため全力を注ぎたいと思います。よろしくお願いいたします。



初出漁の様子



鳥の海での放流の様子



篠田昌伸さん